

米原市上丹生 水害履歴マップ その③ 昭和46年、平成2年(全4枚)

上丹生公会堂でのヒアリング調査(平成26年8月9日、参加者18名)及び報告会(平成27年3月22日、参加者22名)に基づき、昭和46年台風23号、平成2年台風19号の情報をまとめました。



被害状況 昭和46年台風23号(8月30日～31日)

- ・井尻橋の護岸が崩れた。
- ・Yさん宅前の道が大破した。
- ・丹生川の護岸が崩れ、床下浸水があった。
- ・崩れた護岸を直そうと、護岸用に石を積んだが、流されてしまった。

減災の知恵 ※『減災の知恵』とは、災害を受け流すために先人たちが行ってきた知恵のこと

- ・夜遅くまで警戒をしていた。
- ・木の橋は取えてくぎを打って固定しない。
- ・流れたら流れたで仕方ない、むしろそこに流木が引っ掛かって川を堰き止めないようにした。
- ・山の道を通り、安全なところに避難した。(谷は危険)

その他

- ・上丹生村および隣村から災害見舞金をいただいた。
- ・個人所有である5号橋は木橋であったが、水害後の復旧時に初めてコンクリート橋に架け替えられた。
- ・雑木林(落葉樹)をきれいにして、新たに木を植えていった(昭和40年ごろ)
- ・落葉樹の落ち葉は土に栄養を与えていたため、落葉樹がなくなってから土が腐ってきた

消防小屋は公会堂が造られた際に移築された(S43-45)

周りよりも地盤が低い

道路が大破した

山と場所を交換した

至松尾寺

至養鱒場

被害状況 平成2年台風19号(9月19日)

- ・4号橋に木が引っ掛かり、総谷川の水が溢れ、車庫が50cmくらい浸水した。
- ・30分くらいで橋が渡れなくなるほど、総谷川の水位上昇は速かった。

当時の手記にみる、昭和46年水害の様子

(森茂樹さんのお父さんが当時お書きになった手記、『昭和四十六年八月三十一日 台風二十三号橋流失に付見舞』の一部を現代語訳しました)

昭和46年8月30日、台風23号が四国東部を通過。兵庫県加古川付近に上陸(午後6時頃)して勢力が急に衰えたが、その後再び強力な雨台風となり、次第に向きを東に変え、滋賀県東部鈴鹿山系を中心に大雨を降らした。

午後12時前、家の前の木橋が流失した。隠居の前まで深さ40cm前後の濁流が押し寄せ、母屋へ避難した。31日午前3時?を峠として、雨はやや小降りとなった。

井尻橋のあたり、Kさん宅の鳥小屋のあたりの岸が大破。Tさん宅(※場所不明)前の道も大破。かろい(り)アカーが通れる程度となった。

今度の台風で、足良谷方面の山崩れにより林の木や土地が崩れ、直径30cm強の杉5、6本がH宅所有の鉄骨の橋にひっかかったため、左岸に濁流があふれ、Sさん宅の家屋が床下浸水した。井尻では、破岸箇所と総谷川の水のため、住民が総出で夜通し警戒をした。

31日午後5時頃、だいたい雨が止んだ。知人や親せきが次々と水害見舞に来訪し、多額のお見舞をいただいた。…

森さんのお父さんもまた、水害で流された木橋を、水害から3日後の9月3日よりコンクリート橋に架け替えたそうです。